

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F135210111961
大学名	周南公立大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	山口県
大学全体の総収容定員数	1,120名	※令和5年5月1日時点	
学部学科組織構成	経済学部（現代経済学科、ビジネス戦略学科）、福祉情報学部（人間コミュニケーション学科）		

2. 事業概要

ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為なDX人材、すなわちデータサイエンス力、情報エンジニアリング力及びビジネス力からなる「3本の矢」を身に付けた人材を養成し、地域における Society 5.0 の推進、地域の課題やニーズに適切かつ迅速に対応できる「魅力的な地方大学」を実現するため、入学定員100名、収容定員400名からなる情報科学部を令和6年度に開設予定である。来るべきデジタル社会におけるデータサイエンス分野において活躍できるよう、情報処理や AI、統計学などの情報科学系の智慧を理解して使うことのできる**データサイエンスプログラム**、データサイエンスを意味のある形に使えるようにして実装、運用できる**情報エンジニアリングプログラム**、社会的状況や背景を理解した上でビジネス課題を整理し解決できる**ビジネスアナリティクスプログラム**の3プログラムを特色とした授業科目を展開し、予測困難な時代において多様な働き方を可能とする知識・技能を身につけることを意識した学修ができる体系的なカリキュラムを編成することとしている。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度				
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入			
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	情報科学部情報科学科				
設置等組織の学位分野	工学関係				
当該学部等の所在地	山口県周南市				
入学定員	100名				
収容定員	400名				
入学定員の増加数	100名				
他学部等の入学定員の減少数	50名				

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入入学定員を含む。



基本情報

改組予定年度	令和6年度
改組内容	学部の新設
設置等組織名	情報科学部情報科学科
入学定員	【R6新設】100名
所在地	山口県周南市



新設や改組の特徴・コンセプト

ビッグデータに対して付加価値の創造を担う有為な DX 人材（「3本の矢」を身に付けた人材）を養成

- ① **データサイエンスプログラム** : 数理モデル、シミュレーション、AI、ビッグデータ分析などの手法を学ぶことで、自然や社会に存在する膨大なデータから真理やビジネスに活用できる知見を引き出す能力を習得し、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材を養成
- ② **情報エンジニアリングプログラム** : 情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティ、IoTなどの高度な情報技術を学ぶことで地域社会と地域産業の高度な ICT化をリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展のために寄与できる人材を養成
- ③ **ビジネスアナリティクスプログラム** : ビッグデータを集め分析することで現状を把握し、未来を予測した計画をたて、経験や勘に頼らないビジネスを展開する能力を習得し、DXに基づいて地域社会と地域産業のイノベーションをリードし、グローバルな視点から地域社会と地域産業の持続と発展をデザインする人材を養成

改組後の教育内容

- ① 3つのプログラムから複数のプログラムを選択することで予測困難な時代を生き抜くための複合的な力を修得
- ② データサイエンティストとしての実務経験豊富な専任教員や現役のフロントランナーである特任教員による授業により、実社会に必要な情報科学の知識・技術を修得
- ③ 周南地域の産業と連携した教育によって、地域創生の原動力となる力を養うことが可能
- ④ クォーター制によって1週間あたりの授業科目数が少なくなり集中した学びが可能
- ⑤ 3年次第2クォーターには遠隔に対応した授業のみとすることで長期インターンシップや海外留学、あるいはボランティア活動などの経験を積むことを奨励することが可能
- ⑥ 3つのオムニバス型PBL科目によって、データ取得、データ加工・クレンジング、データ分析、評価、ビジネス・実社会への実装を検討までを実践
- ⑦ 高度にe-learningを導入した基礎的な英語教育および、世界の最先端に通じるための実践的な専門英語教育

特筆すべき内容と評価された点

留学等を推進するために科目配置を工夫するとともに、海外インターンシップを行う点を評価

(情報科学部は3年次第2クォーターに、長期インターンシップや海外留学、ボランティア活動等を推奨するために必修科目を配置せず、配当科目はすべてハイブリッド講義あるいは遠隔講義とし、研修先や海外からでも受講できる体制を整える。)

申請要件②～⑤、⑦、⑪、⑫の内容

申請要件②

令和4年10月に山口県及び近隣県に所在する高等学校の2年生（15,783名）に対し、周南公立大学新設学部設置構想についてのアンケート調査を実施し、情報科学部の進学意向は、「受験したい」が910人、「入学したい」が157人、「入学するか検討したい」が746人となっている。進学意向の回答者に対して入学したいが157人となり、入学定員の1.57倍という結果を得た。

申請要件③

情報科学の基本的な知識・技能を学ぶ概論科目や、プログラミング基礎科目、数学系科目を情報科学基礎領域の1～2年次に配置し、2年次に際については各プログラム別に科目を配置する。なお、このようなカリキュラムに対応できる人材を確保するため、情報科学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テスト及び本学独自試験を用いて、高等学校卒業程度の基礎学力、及び、論理的思考に基づき一定の答えを導き表現する力を有しているかを確認する一般選抜、個別学力検査で優秀な学生を確保する学校推薦型選抜を実施する予定である。

申請要件④

情報科学部が入る11号館（5階建て、延べ床面積約4,351㎡）は、令和4年3月に大規模改修工事が終了し、200名以上収容可能な大講義室1室、80名以上収容可能な実習室4室、40名以上収容可能な中講義室4室、20名以上収容可能な小実習室2室、ゼミ室3室を整備し、各講義室、実習室を効果的に使用することで、教育研究上支障なく使用することができる。また、情報科学部設置に伴い、令和5（2023）年度内に全校舎のネットワーク設備を再構築し、全校舎でオンライン授業やオンデマンド授業が快適に行えるよう整備する計画である。

申請要件⑤

データサイエンティストとして実際に現場で活躍した経験のある実務家を専任教員として配置しており、実務経験に基づいたより実践的な教育を実施する。また、企業や行政においてAIやデータを実装すること、地域企業におけるDX業務やデータ活用の実際を実務家にゲストスピーカーとして紹介してもらった講演を実施する。

申請要件⑦

周南市に本社・本店を置く地域の企業とDXの推進について、人材育成の可能性を見出すための事前協議を令和5年度中に行い、フェーズ2の対象期間となる令和6（2024）年4月以降、各企業と連携したPBL教育を行えるよう準備を進める。

申請要件⑪

外部資金獲得額の申請時点の平均は20,909千円であるが、フェーズ3の助成期間終了時までに40,000千円を目指す計画である。

申請要件⑫

完成年度以降に向けて近隣の高等教育機関と連携し、他大学の専門科目を受講することで卒業単位の一部を認定することにより、将来多様な領域で活躍するきっかけを作る計画である。また、多様な入学者の確保に向けた取組については、周南圏域の高校と高大接続・連携を強化するために、高校生データ分析キャンプ等を実施し、適切なデータ活用ができる人材を育成する。さらに、社会人に対しては、スキルアップにつながるテーマ・講義を用意し、修了者に対しては履修証明プログラムを発行することで、社会人の学び直し、編入学選抜に繋げる予定である。